



令和元年度(2019年度) 水道事業会計決算概要

水道事業会計は、事業経営に伴う収益的収支と施設の改良事業に要する資本的収支から構成されています。

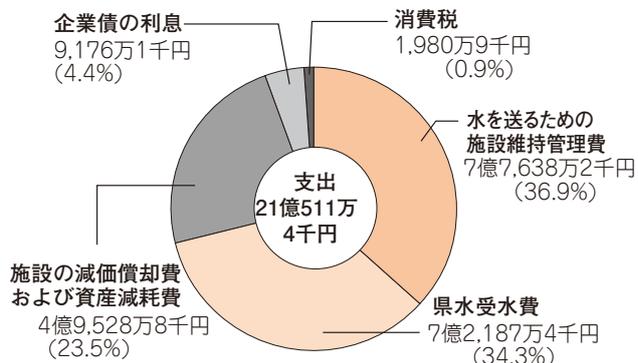
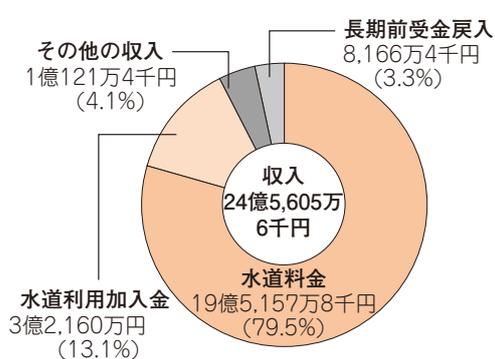
令和元年度における収益的収支の収入額は24億5,605万5,517円、支出額は21億511万3,792円となりました。この結果、収入支出差引3億5,094万1,725円が純利益となりました。純利益は、今後の水道施設の更新や企業債(借入金)返済の財源に充てられます。

また、資本的収支の収入額は5億4,582万7,779円、支出額は12億7,825万7,683円となりました。差引不足額7億3,242万9,904円は、損益勘定留保資金(収益的支出の現金支出を伴わない資金)などで補てんしました。

問/水道経営課 ☎462-3366

●収益的収支 (事業経営に伴う収入と支出)

収益的収入は、その約93%が水道料金と水道利用加入金で占められています。また、支出は、その約34%を県水受水費が占め、そのほかは水を送るための施設維持管理費、施設の減価償却費などとなっています。

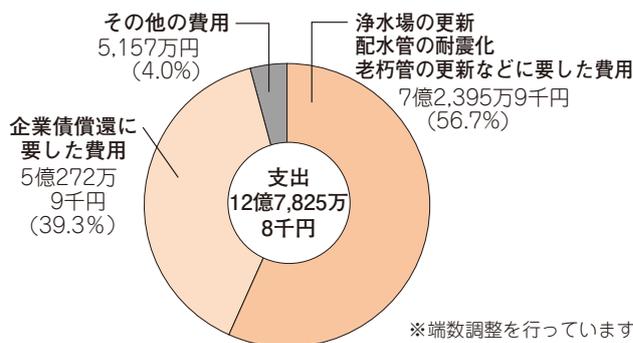
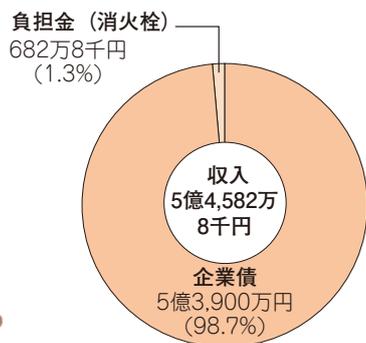


※端数調整を行っています

●資本的収支 (施設の改良事業に要する収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)が約99%を占めています。

また、支出は、浄水場や老朽管の更新、配水管の耐震化に要した費用のほか、過去に借り入れた企業債の償還となっています。



※端数調整を行っています

●水道事業経営

単位: 千円

水道事業は独立採算制で運営しており、事業に必要な費用は、皆さんからいただく水道料金などの収入で賄われています。

右の表は令和元年度の決算値と平成30年度に策定した水道事業経営戦略の予測値の比較です。

今後も、次世代に過重な負担を強いることがないように努めてまいります。

※収益的収入および支出は、消費税抜きの金額となっています。

| 項目 | 令和元年度 決算値 | 経営戦略 予測値 | 比較 |
|------------|--------------|-------------|-----------|
| 収益的収入 | 2,266,124 | 2,071,501 | 194,623 |
| 収益的支出 | 1,976,276 | 1,963,890 | 12,386 |
| 利益 | 289,848 | 107,611 | 182,237 |
| 資本的収入 | 545,828 | 637,000 | △ 91,172 |
| 資本的支出 | 1,278,258 | 1,385,299 | △ 107,041 |
| 補てん財源(不足額) | 732,430 | 748,299 | △ 15,869 |
| 年度末資金残金 | 1,642,781 | 1,385,857 | 256,924 |
| 企業債未償還残高 | 4,888,188 | 5,109,478 | △ 221,290 |